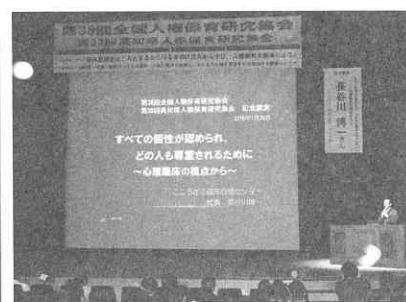


今後の日程

- (3月)
- 2~3 第73回全国大会 (東京)
 - 6 和歌山市男女共生出前講座・女性対策部会議 (杭ノ瀬文化会館)
 - 8 労働局視察 (平井)
 - 12 第1回全国青年運動部長会議 (大阪)
 - 14 ランチタイムデモ
 - 15 同企業幹事会
 - 20 青年部と環境生活部との話し合い (和歌山ビッグ愛)
 - 21 西光万吉先生を偲ぶ会 (井坂会館)
 - 23 狹山ビラ統一行動
 - 24 県土整備部・宅建協会との意見交換会 (アバローム紀の国)
 - 26 伏原支部定期大会 (伏原会館)

大切な子どもの存在を認める
子育て保育を

オーブニングでは、高知市解放保育を育てる会と教員バンドのヒューマンライツ・カンパニーによる「みんな高知の宝ものやき」で開会した。集会は、基調提案につづき、特別報告「あ・ゆ・み」～すべての子どもたちに全面発達を保

障する人権保育を創造しようと題し、高知での同和保育・人権保育の歩みが紹介された。

記念講演では、「すべての個性が認められ、どの人も尊重されるために」心理臨床の視点から」を、長谷川博一・こころぎふ臨床心理センター代表から講演があつた。これまでの臨床をもとに、「みえない虐待」「やさしい虐待」「きれいな虐待」がある。やさしい虐待をうけると、周囲が、親の決めた道を生きることで苦しくなつていい

的環境が継続する。コントロールという名の虐待は、子どもに大切なものを封印させる。多くは、しつけ、教育、あなたのためという言葉を使って支配する。子どもは「あの日、ずっと待っていたもの」がこなれば、「あきらめ」として心に残る。では「あの日、待つていたもの」、それは「あなたが大切」という子どもの存在を認めることだと優しく話された。

第38回全人保

第38回全国人権保育研究集会が1月30・31日、高知県立県民文化ホールでひらかれた。全国から1500人が集まり、和歌山から24人が参加した。

狹山闘争本部と県共闘門」を含め9分科会にわかれ、参加者のさまざまな課題にそつた分科会で学習した。

長崎の全女成功を全女活

第72期第1回全国女性活動者会議が2月7日・8日、ホテルJALシティ長崎でひらかれた。山本昌代・女性対策部長と事務局が参加した。

協議の内容は、5月24日に東京・日比谷野外音楽堂でひらかれる「狹山市民集会」への参加と翌日におこなう県共闘会議と地域共闘会議で狹山現地調査の実施について話しあつた。現調の詳細は県連まで。

差別は「社会」に 和歌山市自立支援協議会

和歌山市自立支援協議会が1月25日、市保健所でひらかれた。江田祐介会長はじめ9人の委員と3人のオブザーバーが参加した。

和歌山市連から歌坂憲彦・障害者部会(生活福祉運動部)と事務局が参加した。議事は、①障害者差別解消法にかかる市のとりくみ、②「障害のある人もない人も共に安心して暮らやすい和歌山市づくり条例」、③和歌山市職員対応要領について議論された。県連から、市の条例(案)の対象者の項目に性同一性障害が記されていない、障害者は擁護から権利を獲得する存在となり、障害者が記されていない、障害者は擁護から権利を獲得する存在となり、障害者としての存在を再度確認した。

第72期第1回全国女性活動者会議

2016年2月7日~8日



あいさつする山崎女性運動部長



県連報告する山本女性対策部長

支局からのお知らせ お気軽にお電話を!



和歌山支局では、各支局でのとりくみを積極的に紹介していく。子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先)〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連合会内

狹山闘争本部と県共闘事務局会議を2月1日、県連事務所でひらいた。